



带状疱疹

主に体の片側に帯状に水ぶくれができ、痛みを伴う感染症です。

1. **原因**：小さいころに罹った水ぼうそうが治った後も体に残っていて、抵抗力が落ちた時にできます。
2. **年齢**：60歳以上に多いと言われますが、水ぼうそうに罹ったことがある人は何歳でもなる可能性があります。
3. **症状**：初めに痛みが出ます → 数日すると水ぶくれが出ます → 2週間ぐらいするとかさぶたになります → 1か月ぐらいでかさぶたが取れます → 痛みが和らぎます

小さいお子さんが带状疱疹になった場合、痛みがはっきりしないことも多く、痒いと自覚することもあります。

4. 治療：

(ア) 抗ウイルス剤内服

(イ) 直接洋服が当たると痛みが悪くなるので、皮膚保護するために軟膏をガーゼに伸ばして患部に貼ります。

(ウ) 痛みを伴う場合：鎮痛剤等内服、ビタミン B₁₂ 内服、温める

5. 注意する事：

(ア) 妊婦さん、水ぼうそうに罹ったことのない小さいお子さんには水ぼうそうとしてうつることがあります。

(イ) 耳の近くに带状疱疹ができる場合、耳の聞こえが悪くなることがあります。この場合、耳鼻科の受診が必要になります。

(ウ) 目の近くに带状疱疹ができる場合、目の表面の角膜をウイルスが傷つけることがあります。この場合、眼科の受診が必要になります。

(エ) 通常神経痛は痛みのみですが、稀に、動きの神経にも炎症を起こすことがあります。痛みのみではなく動きが悪くなる場合があります。

6. **带状疱疹後神経痛**：通常、痛みは症状が出てから1～2か月以内には落ち着きます。稀に、6か月以上続く場合があります。この場合を带状疱疹後神経痛と言います。带状疱疹後神経痛を和らげる内服、大学病院でのイオントフォレーシスが必要になる場合があります。